株式会社たのしいミュージアム（娯楽業）

たのしい
ミュージアム



うんこミュージアム

〇本社所在地：東京都渋谷区
〇事業概要：体験型エンタメ施設「うんこミュージアム」等のエンタメ企画・プロデュース・運営・グッズ企画販売・IPライセンス事業
〇常時使用する従業員：178名
（2026年10月時点）
〇現在の売上高：14億円
（2025年12月期）
〇法人番号：6011001145232
〇Web：https://tmuseum.co.jp/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
小林　将

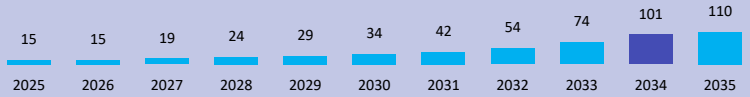
リアルエンターテインメントで、「あたりまえ」をくつがえし、新しいたのしさを生み出す

私たちは「うんこミュージアム」をはじめ、誰もが知る“王道”のテーマを、まったく新しいたのしさに変えるリアルエンタメを生み出してきました。企画から運営まで一気通貫で、人が参加して完成する体験を届けています。これからも「みんなたのしい　みんなあつまる」場を国内外に広げ、日本のリアルエンタメを世界へ届けます。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2034年の売上高100億円達成に向け、2030年までは年率20%程度、その後は年率30%程度の成長を目指す。オリジナル企画による多コンテンツ・多店舗展開を進めながら、プラットフォーム型の新規事業にも着手し、事業構造を広げる。



課題

・単体施設の運営から、複数の施設・事業を同時に動かす組織体制への移行
・新施設を毎年開業するための店長・運営人材と投資資金
・FC・海外展開を担う現地パートナーと運営ノウハウ
・プラットフォーム型の新規事業を立ち上げる体制とノウハウ

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

・中規模で出店しやすい施設モデルで、国内に新施設を継続開業（2027年に横浜で新コンテンツ施設）
・FCによる国内外への店舗展開とIPライセンス収入の拡大
・日本のリアルエンタメを海外へ（アジアの1か国を起点に展開）
・2031年を目途に、プラットフォーム型の新規事業に参入

実施体制

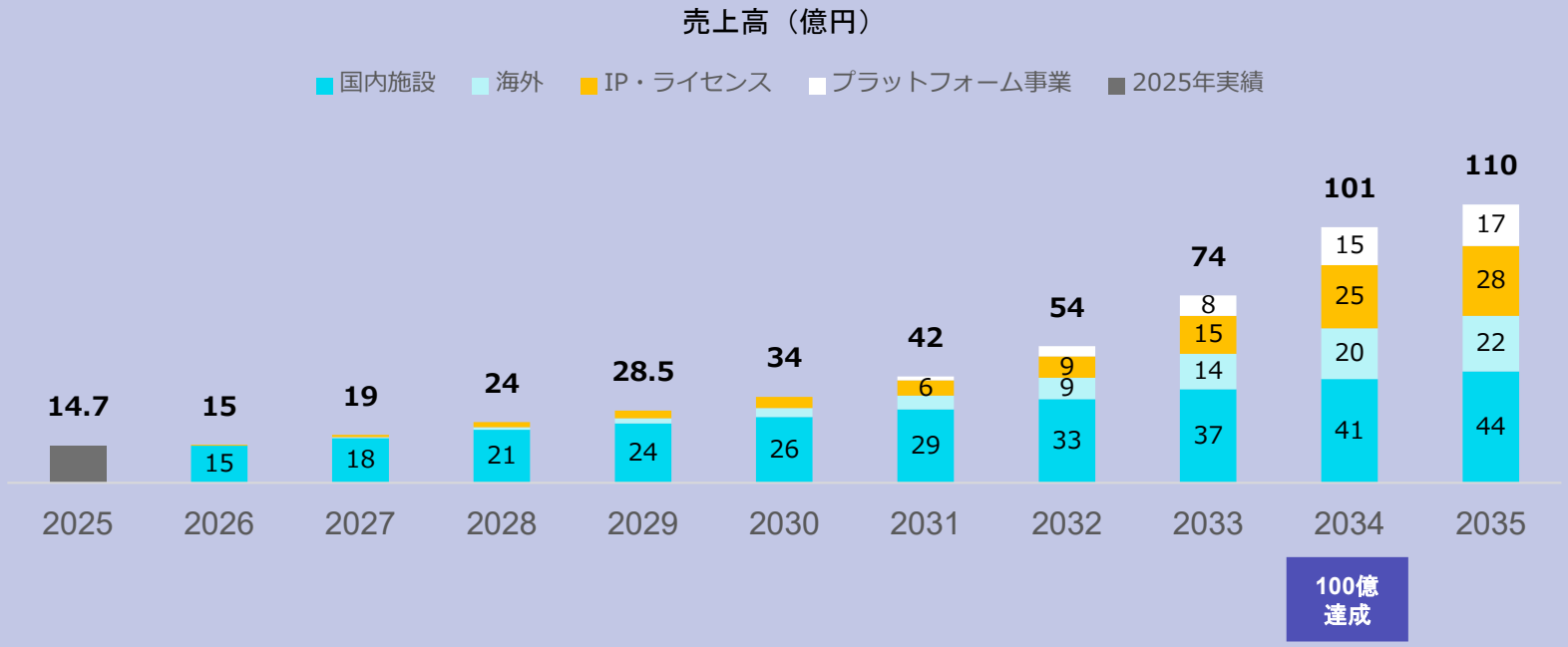
・5本部（プロデュース、マーケティング、運営、MD、コーポレート）体制で企画から運営まで一気通貫で推進
・代表直下で新規事業（海外・プラットフォーム事業）を推進
・店長・ミドルマネージャーの計画的な採用と長期育成
・FC・現地パートナーおよび事業パートナーとの提携

※本宣言は企業自身がその責任において売上高１００億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです

株式会社たのしいミュージアム（娯楽業）

売上高100億円実現の目標と課題

社会的背景	・**政策**：政府は2030年に訪日外国人旅行者6,000万人（観光立国推進基本計画）、2033年に日本発コンテンツの海外市場規模20兆円を目標に掲げる。 ・**現状**：日本のコンテンツはアニメ・マンガ・ゲームなどで海外展開が進む一方、リアルエンタメ（体験型施設）の海外展開はまだ少ない。 ・**市場**：モノからコト（体験）へ消費が移り、訪日客にとっても日本ならではの体験が旅行の目的になっている。 ・**顧客**：ファミリー・若年層・訪日外国人、商業施設・施設運営者
当社が提供する解決策	**オリジナルのリアルエンタメ「うんこミュージアム」を生んだ数少ない企業として、日本発の体験を国内外に届ける** ・**強み**：累計来場者300万人超の実績と、企画・空間づくり・運営を一気通貫で担う体制 ・**中規模**：遊園地のような大規模施設に比べて投資額が小さく、商業施設の一区画など限られた広さでも展開できる「ミドルエンタメ」 ・**2つの価値**：①訪日客が日本を訪れる動機となるオリジナルエンタメ　②日本のリアルエンタメの海外展開 ・**展開**：直営施設、FC・ライセンス、海外展開に加え、プラットフォーム型の新規事業へ広げる ・**効果**：商業施設や地域に人を呼び込み、にぎわいと観光の活性化に貢献



計画の前提

国内施設：2027年以降、新施設を計5施設開業（1施設あたり年4～5億円）

海外：アジアの1か国で2027年に展開を開始

IP・ライセンス：国内外のFC店舗からのライセンス料、キャラクターライセンスなど（2027年にFC1店舗目）

プラットフォーム事業：2031年頃に参入。安定的な収益源となる新規事業

2034年：売上高101億円（国内41：海外20：IP・ライセンス25：プラットフォーム事業15）